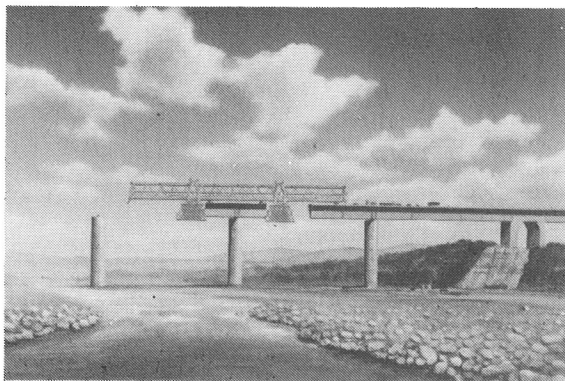


利根川橋(PC上部工)工事 (P & Z工法によるPC連続箱桁橋)

Construction of TONEGAWA Bridge by P & Z Method

川田建設(株)・工務2部



架設想像図

利根川橋梁は、日本道路公団関越自動車道(練馬IC～長岡IC)の未開通部分で、関東平野の最北端の交通の要地である前橋市の北方約10kmにおいて、本自動車道が利根川を渡る所に位置している。

利根川は、古くから坂東太郎の名で呼ばれているように、出水期には川の流れが一変してしまうほどの河川として知られている。また、取付道路の新潟側は山間ルートへの入口付近となるため、最大橋脚高が30mを越え、支間も80mと計画されている。

本工事は、昭和57年6月に当社他1社による共同企業体にて受注し、詳細設計に先だち、本橋の施工条件に

最適な工法が再度検討された結果、河川敷からの作業を必要とせず、長大支間に適用可能なP & Z工法(上り線)、移動作業車による張出し工法(下り線…ディビダーク鋼棒使用)に決定された。

現在当社において、P & Z工法による施工計画及び詳細設計が終了し、現場における施工が進んでいる。

以下に、工事概要、一般図、施工工程を示す。

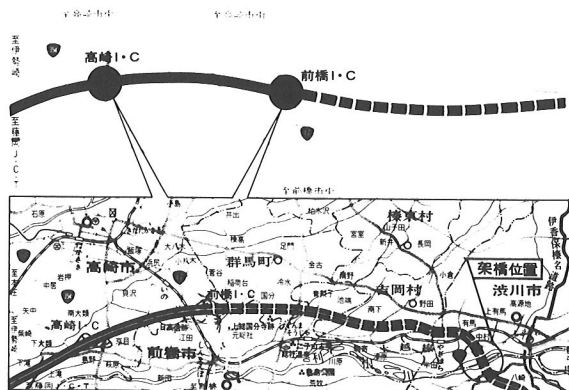
工事概要

工事名称 関越自動車道利根川橋(PC上部工)工事
発注者名 日本道路公団東京第二建設局
高崎工事事務所
工事場所 群馬県 渋川市～勢多郡
工事区間 STA 2+61m～STA 8+21m
工 期 昭和57年6月～昭和59年5月

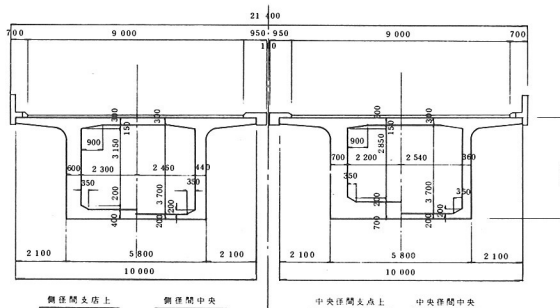
工事内容

施工法 P & Z工法(上り線)…鋼線、フレシネー
移動作業車による張出し工法(下り線)
…鋼棒、ディビダーク

橋 種	ポストテンション連続一室箱桁橋		
橋 長	560m		
支 間	2@79.2m	(2径間)	
	79.2+3@80.0+79.2m	(5径間)	
幅 員	全幅 21.4m(上下線)		
	2@ (0.7+9.0+0.95)m		
桁 高	4.2m(等断面)		
活 荷 重	TL-20及びTT-43		
斜 角	LR~84°15'		
平 面	クロソイドS字曲線(Rmin=1,400m)		
縦 断	3.5%		

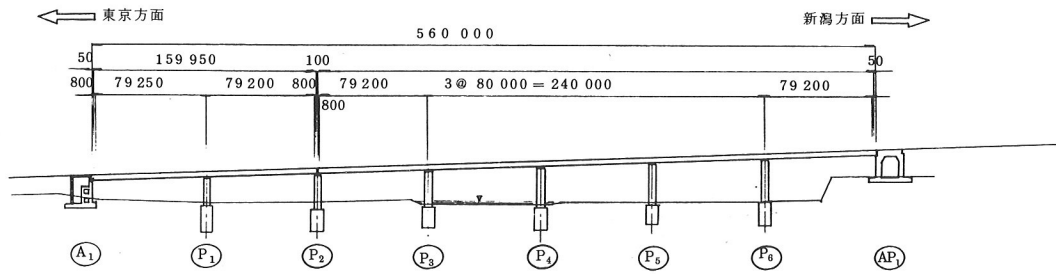


位置図

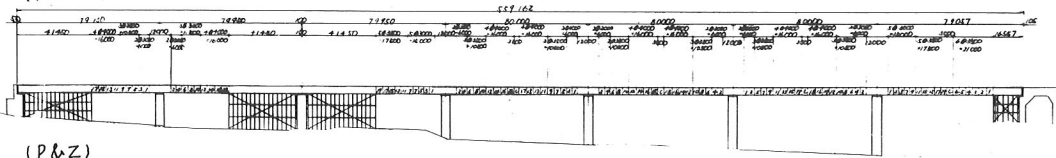


断面図

一般図



(デビゲグ)



(P&Z)

